

神戸大学「レボリューション！女性教員養成神戸スタイル」

【現状と取組状況】

神戸大学は、平成19年度に採択された「女性研究者支援モデル育成」事業の中で、以下のような取り組みを行った。これらの取り組みは、一部拡充され現在も継続中である。

- ①男女共同参画学長宣言を出し、男女共同参画基本計画を決定した。さらに以下の内容からなるポジティブアクションを研究教育評議会で決定した。「1. 全部局で女性教員の採用比率を20%とする。2. 募集要項に女性の積極的な応募を歓迎することを記載する。3. 能力が同等である場合には、女性を優先的に採用する。」〔平成24年5月に採用比率を20%から30%に見直し（教育研究評議会決定）〕
- ②研究を中断している理系女性研究者を育成研究員として正規に雇用し、正規の研究者になれるよう支援する「育成研究員制度」〔女性研究者養成システム改革加速事業で継続中〕
- ③理系女性研究者に対して常勤研究職のポストを紹介する「女性研究者人材バンク」〔対象者（男女、研究分野問わず）及び紹介内容（非常勤で研究補助等の仕事も含む）の見直しを行った（平成24年10月改正）〕
- ④子育て中の研究者を対象にした「研究支援員制度」および「常勤パート研究職制度」の運用を継続するとともに、ベビーシッター派遣会社と法人契約を結び、「ベビーシッター派遣料金の一部を補助するサービス」の整備（平成23年10月）拡充（平成24年10月）。

【レボリューション！女性教員養成神戸スタイル】

神戸大学は、平成22年度より女性研究者養成システム改革加速事業を受託し、女性教員の採用および研究力の向上をめざした取り組みを行っている。実施体制は、学長のリーダーシップの下に、男女共同参画担当理事、学長補佐、理工農学系のすべての研究科長、男女共同参画推進室長からなる「女性研究者養成システム改革戦略会議」を組織し、本事業の採用計画の完全実施を担保する。具体的な取り組みは以下の通りである。

- （採用）本学独自の育成研究員も対象として、新規養成女性教員を女性限定の公募で5年間に21名以上、理工農学系研究科に採用する。同女性教員を採用した研究科には、インセンティブとして同女性教員1名に対して1名の任期付助教を学内経費により5年間措置する。
- （支援）新規養成女性教員に研究費を3年間支給、メンター2名（研究・ライフ）を配置し、理工農学系の女性教員に研究スキルアップ経費（国際学会参加費、英文校閲費）を補助、子育て中の研究者を対象に研究支援員を配置することにより、研究力アップを支援する。
- （養成）理工農学系の女性研究者を対象に「神戸キャリアアップカフェ」、「国際シンポジウム」を開催し、リーダーシップ、教育能力、研究費獲得力等の総合的研究力の養成を行う。

【5年間の成果と今後の課題】

- ①21人の女性教員が理工農学系研究科に着任。
- ②論文525本、外部資金獲得件数88件（新規養成女性教員）。
- ③受賞20件（新規養成女性教員）。
- ④理系女性教員の昇進（3名が准教授→教授；1名が講師→准教授）。
- ⑤理工農学系女性教員の採用13名（インセンティブ助教3名+独自採用10名）

学長補佐による「男女共同参画進捗状況について」の研究科長インタビュー、男女共同参画推進室員による各部局での「男女共同参画活動説明会」の実施において、上記のような取り組みおよび成果を周知するとともに、大学構成員のニーズを明らかにし、更に男女共同参画を推進している。

加速事業終了後も、引き続き女性教員の採用を進めるとともに、採用した女性教員のスキルアップを支援するプログラムを充実させることにより、上位職への昇進者を更に増加させることである。

【連絡先】神戸大学 男女共同参画推進室

Tel : 078-803-5017 Fax : 078-803-5285 E-mail : gnrl-kobestyle@office.kobe-u.ac.jp

URL : <http://www.office.kobe-u.ac.jp/opge-kyodo-sankaku/toi/index.html>

レポリューション！女性教員養成 神戸スタイル

理工農学系女性教員の採用計画

神戸大学は5年間で21名以上の優れた女性教員を女性枠で採用しました。それとは別に独自採用10名、インセンティブ助教3名を採用し、理工農学系女性教員数は55名となった。

	H22	H23	H24	H25	H26	合計
採用計画	3	6	6	4	2	21

	H22	H23	H24	H25	H26	合計
達成状況	3	6	8	3	1	21

H26.11現在	教授	准教授	講師	助教	合計
採用者の職位	1	3	1	16	21

**神大式
女性教員採用
システムで
採用を加速**

ONE+ONE/インセンティブ策
新規女性教員1名採用につき助教（任期5年）1名を学内経費により研究科に措置する

育成研究員
「女性研究者支援モデル育成」事業にて制度化。公募により採用した若手研究者を学内経費により雇用し新規養成女性教員の候補者として1年間育成する。

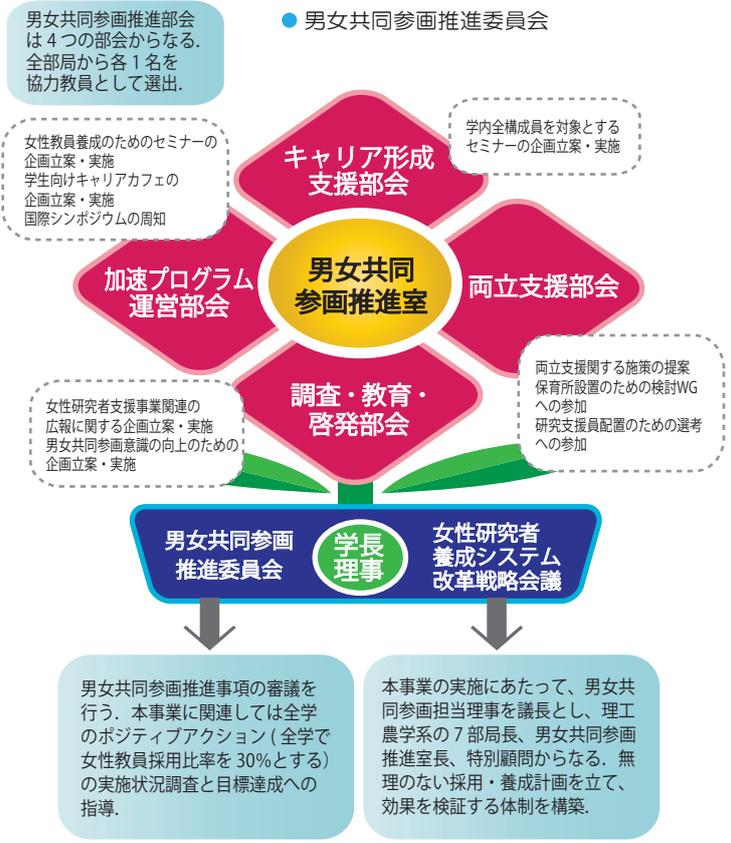
**自主経費
で実施**

事業実施5年目の
理工農学系女性教員数
24名から55名に！

本課題採用 **21名**
インセンティブ助教 **3名**
独自採用 **10名**

システム改革

- 女性研究者養成システム改革戦略会議
- 男女共同参画推進部会 **NEW SYSTEM!**
- 男女共同参画推進委員会



理工農学系女性教員の支援・養成

国際学会参加旅費・英文校閲費の補助（研究スキルアップ経費）

H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
340万円/8名	910万円/16名	750万円/18名	600万円/25名	300万円/17名

研究支援員の配置

H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
13名	15名	17名	15名	15名
理工農学系 3名	理工農学系 5名	理工農学系 4名	理工農学系 4名	理工農学系 6名

その他、新規養成教員には研究費、研究メンター&ライフメンターを配置

神戸キャリアアップカフェの開催

目的	開催回数	テーマ
研究力 up	H22 2回 H23 6回	研究資金取得のためのコツ
教育能力向上	H24 6回	英語プレゼンテーションスキルアップ
昇進意欲向上	H25 6回 H26 3回※予定	海外の女性研究者との意見交換会

国際シンポジウムの開催

目的	講演者※一例
ユネスコとの連携 世界レベルの ロールモデルの提示	ロレアル・ユネスコ女性科学賞受賞者（H22,H24） 2006年アメリカ化学会会長（H23） ユネスコ事務局長（H24）・ユネスコ男女共同参画担当課長（H23,H25）

その他、学生向きキャリアカフェ（年2回）を実施

国際シンポジウム(H25.12.05)

Women in Science and Education
- Gender, Risk Management and Resiliency

ユネスコから学ぶ！

ユネスコ男女共同参画部長 S.Gulser Corat氏 講演

Disaster Risk Reduction
- How Does Gender Equality Help?



5年間の女性教員養成の成果

新規養成女性教員 20名

論文件数 H22-H26.10	525	ファースト オーサー	393
外部資金獲得件数 H22-H26.10	88		

学長補佐 **1名**
研究科長 **1名**
評議員 **2名**

既在籍教員
3名が
教授へ昇進！

受賞件数
20件
新規

教授採用された新規養成女性教員により **樹木医補カリキュラムを新設**
神戸大学が **樹木医補認定大学に**

継続・発展性について

- 学長補佐：研究科長インタビュー
推進室員：部局説明会「男女共同参画活動説明会」を実施
- 全学の女性教員採用比率の見直し20%→**30%へ**
- 学内部局における女性教員採用の促進をはかる
- 女性教員の研究支援
- 事業終了後もメンター・スキルアップ研究費・育児中の研究支援を継続
- 女性教員採用・養成に関する啓発活動の実施

女性教員の
採用比率
30%を
達成する